

項目	観点	教科書名						
1 学習指導要領の教科の目標を取り扱う内容の選択について		新しい数学(2・東書)	数学の世界(4・大日本)	中学校数学(11・学図)	中学数学(17・教出)	未来へひろがる数学(61・啓林館)	中学校数学(104・数研)	中学数学(116・日文)
	○数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を知得するために、どのように配慮されているか。	・間違っているところを説明したり、正しく直したりする問題が設定され、数学的な表現や処理の仕方を知得できるよう配慮されている。 ・側注に、習得させたい内容につながる既習事項の確認が表記され、数学的な表現や処理の仕方を知得できるよう配慮されている。	・既習内容の復習も兼ね、学習を始める手がかりとなる問題が示され、基礎的な概念や原理・法則についての理解を深めることができるよう配慮されている。 ・側注に、習得させたい内容につながる既習の法則などが表記され、数学的な表現や処理の仕方を知得できるよう配慮されている。	・章の始めに、これまでに学習したことがらをまとめたページ「ふりかえり」が示され、学び直ししながら、基礎的な概念や原理・法則についての理解を深めることができるよう配慮されている。 ・例題・考え方・解答・問の順で書かれており、数学的な表現や処理の仕方を知得できるよう配慮されている。	・章の始めに、これまでに学習したことがらをまとめたページが設定され、学び直しをしながら、基礎的な概念や原理・法則についての理解を深めることができるよう配慮されている。 ・章末に、学んだ内容を振り返るページが設定してあり、学習内容をまとめる原理・法則、数学的な処理の仕方を知得できるよう配慮されている。	・例や例題では、基礎・基本に相当する内容をていねいに取り上げ、生徒自らが取り組む際の手本になるように工夫してある。 ・新しい概念や考え方を習得する際に、自分自身で考える場面「自分のことばでつたえよう」「自分の考えをまとめよう」「みんなで話し合ってみよう」を示し、理解が深まる学習ができるよう配慮されている。	・巻頭に「クイックチャージ」、本文中に「ふりかえり」や参照ページ、巻末に「基本のまとめ」を示し、振り返りながら学習できるように工夫されている。 ・新しく学習する内容のきっかけとなる問いかけが示されており、既習内容とつながりをわかりやすくし、数学的な表現や処理の仕方を知得できるよう配慮されている。	・各章の直前に「学ぶ前に」、本文中に参照ページや別解を示したりすることで、数学的な表現や処理の仕方を知得できるよう配慮されている。 ・「くり返し練習」では補充の問題がのっているページが示され、振り返りながら学習できるように工夫されている。
	○事象を数理的に考察し表現する能力を高めるために、どのように配慮されているか。	・自分で考え、友達と伝え合って取り組む「学び合いのページ」が示され、表現する能力を高めることができるよう配慮されている。 ・生徒の吹き出しのイラストが、数理的な考察をするための見通しをもたせる手立てとなっている。	・実験・実測を基に推測する活動が、多く設定してあり、事象を数理的に考察し表現する能力を高めることができるよう配慮されている。 ・表や文章中に空欄を設けたり、各学年に「研究しよう」「レポートを書こう」を設けたりして、表現する能力を高めるよう配慮されている。	・巻末に「表現する力を身につけよう」というページが示され、レポートの作成の仕方や発表の仕方の具体例があり、表現する能力を高めるよう配慮されている。 ・自分の考えを説明したり、みんなで話し合ったりする学び合いの問題が示され、表現する能力を高めることができるよう配慮されている。	・側注にキャラクターが表記され、「発見する」、「利用する」、「説明する」活動を大切にしながら、数理的に考察し表現力を高めることができるよう配慮されている。 ・巻末に、数学で大切にしたい考え方に焦点をあてたページが設けてある。	・巻末に「千思万考」というページが設定してあり、数理的に考察する能力を高めることができるよう配慮されている。 ・生徒が間違いやすい箇所について「誤答例」として示され、どのようにすれば正しくなるのかを考える場面が設けてあり、表現力を高めることができるよう配慮されている。	・考察や作業を通して、新しいことがらを見いだしたり、身のまわりの問題を解決するための題材が示されている。 ・ガイドキャラクターが本文中に示され、学習の流れをスムーズにつなげ、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるためよう配慮されている。	・「説明しよう」「話し合おう」では、式や図、表、グラフなどを積極的に使い、事象を数理的に考察し表現する能力を高めることができるよう配慮されている。 ・巻末の「とりくんでみよう」にある「説明できるかな？」では、方法や理由などを書く問題が設定され、表現する能力を高めることができるよう配慮されている。
	○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにするために、どのように配慮されているか。	・各節の導入に数学的活動を設定し、数学的活動の楽しさを実感できるようにしてある。 ・学んだ数学を日常生活に活用する問題や学んだ数学を他教科の学習に活用する問題が巻末に設定してあり、数学のよさを実感できるよう配慮されている。	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにするために、3つの視点「見いそう」「利用しよう」「伝えよう」が明示してある。 ・答えが1つとは限らない問題やいろいろな考え方ができる問題「考えてみよう」が示され、数学の楽しさを実感できるように配慮されている。	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにするために、数学的活動のマークがあり、さらに3つの視点「見つける」「活用する」「伝える」が明示してある。 ・課題に関連する職業・仕事が書かれているところがあり、数学のよさを実感できるよう配慮されている。	・「みんなで数学」が設定され、新たな規則や性質を見つけ発展させたり、日常生活や社会で数学を利用したりすることなどを意識させながら、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるように配慮されている。 ・巻末に「自由研究」が設けてあり、豊かな数学の世界に触れて、数学のよさを実感できるよう配慮されている。	・数学を利用する活動「身のまわりへひろげよう」が設定され、細かくステップを踏みながら段階的に活動ができるように配慮されている。 ・「学びを生かそう」「自由研究に取り組もう」が入った別冊があり、数学のよさを実感できるよう配慮されている。	・章の導入では、探究心を喚起し、生徒自らが新しいことがらを見だし発展させることができるよう、数学的活動を伴う問題が設定してある。 ・巻末に「数学探検」が示され、数学の楽しさや奥深さを感じながら、学習が進められるよう工夫されている。	・「見つけよう」「考えよう」「やってみよう」が示され、新しいことがらや問題の解き方、いろいろな見方や考え方などを見つけたり、発展させたりできるよう配慮されている。 ・生活の中で数学を利用する問題「生活への活用」が示され、数学のよさを実感できるよう配慮されている。
	○数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てるために、どのように配慮されているか。	・章中に、学んだことを広げたり深めたりする問題「やってみよう」や、身のまわりで見つけた数学をレポートにまとめる問題「数学発見レポート」が設定されている。 ・節末に、学習とつながる話題を紹介した読み物や課題「数学のまど」が設定されている。 ・巻末に、社会や職業で数学が活用されている例や日常生活に数学を活用する課題「社会とつながる」、より進んだ学習に活用する課題「数学をひろげる」、他教科の学習に活用できる課題「教科とつながる」、読み物「数学の歴史」が記載されており、数学の必要性や有用性に触れることができる。	・章中に、学習した内容をさらに深めたり、調べたりするためのきっかけとなるための話題や問題が設定されている。 ・巻末には、学んだことを基にして解決できる問題「いろいろな問題」やオープンエントの問題「考えてみよう」、学んだことを活用する問題「挑戦しよう」や学習内容と関連したコラム「社会にリンク」が設定されている。 ・巻末の「Mathful」というコーナーでは、数学が普段の生活に生かされていることや数学の歴史の話などが記載されており、数学を身近に感じられるよう配慮されている。	・章中に、学習したことがらをより深めるための問題「クロスアップ」が設定されている。 ・巻末に、学習したことがらをさらに深めたり広げたりするための「深めよう」という項目が設定されている。 ・巻末に、学習したことがらをレポートにまとめたり、探求的な学習をしたりするために「さらなる数学へ」という協同学習のページが設定されている。レポート作成や発表の仕方、調べてみようというコーナーや、身のまわりのことがらや数学の歴史から問題解決を図る「課題学習・自由学習」を設定し、興味・関心を高めながら課題学習に取り組むことができるよう工夫されている。	・章中に、学習したことを活用して取り組む問題「チャレンジコーナー」や、関連する話題を読んで興味を広げる「数学ミ事典」が設定されている。 ・巻末に、学習内容を深めたり広げたりする「数学の広場」や、関連する課題に取組む「ジャンプ」という項目が設定されている。 ・巻末に、「数学で大切にしたい考え方」や、数学のよさを感じることができる「自由研究」、じっくりと問題に取組む「考える力をアップしよう」が設定されていて、数学の必要性や有用性について理解できるよう配慮されている。	・章中に、「みんなで話し合ってみよう」「自分の言葉で伝えよう」「自分の考えをまとめよう」が設定されており、どの場面でも何をするのか、どんな活動をするのかかわかりやすくなっている。 ・巻末に、学習内容と関連した話「数学展望台」やじっくりと考える問題「千思万考」が設定されている。 ・巻末に、興味・関心に応じて取り組むことができる課題「数学広場」が設定されている。さらに、別冊「MathNaviブック」では、学びをいかす、つなげるための課題や自由研究のテーマ例が記載されており、思考力を伸ばすための配慮がなされている。	・章中に、数学のよさを学ぶことができる話題「やってみよう」が設定されている。 ・巻末に、該当学年で学習する範囲を超えた内容「発展」が設定されている。 ・巻末に、身のまわりに潜む数学を探す「数学探検」や「ぐんぐんのぼそうちゃん編」が記載されており、数学の世界を広げる工夫がなされている。	・章中に、学んだ内容に関連した話題「数学のたんけん」が設定されており、数学の活用力をのばすように配慮されている。 ・巻末に、学習内容をさらに深めたり、発展させるための課題「深める数学」や身のまわりの問題を解決する課題「生活への利用」が設定されている。 ・巻末に、数学への興味が一層高まるような課題や話題「数学研究室」が設定されており、数学の見方や考え方を広げる問題や身のまわりの事柄と数学の結びつきを感じることができるよう、配慮されている。
	<基礎・基本の定着のための工夫> ○基礎的・基本的な内容の習得のために、学習内容の取扱いや練習問題に、どのような工夫が見られるか。	・「例」の次に「たしかめ」があり、基礎的な学習内容の理解を確認することができる。 ・節ごとに、「基本の問題」があり、基礎的な学習内容の定着を図ることができる工夫がされている。また、該当ページが記載されていて、戻って復習できるように工夫されている。	・問題の右側に「思い出そう」があり、既習事項の復習ができるよう、工夫されている。 ・単元毎に2カ所程度、基本計算の練習問題が掲載されている。また、戻って復習できるように、該当ページも記載されている。	・導入では、「ふりかえり」を掲載し、既習事項を振り返ったり関連を確認したりできる。 ・「問」「確かめよう」「計算力を高めよう」など、練習問題が多数記載されており、計算力を定着させる工夫がされている。また、該当ページも記され、復習できるよう工夫されている。	・章の始めの「学習する前に」では、既習事項を振り返り学習内容の習得のために工夫されている。 ・節ごとの「基本のたしかめ」や穴埋めなどをを用いた巻末の「学習のまとめ」により、基礎基本の定着が図られるように工夫されている。 ・「例」「たしかめ」「問」と3段階になっていることで、基礎基本の定着が図れるよう工夫されている。	・既習事項の復習ができるように、「ふりかえり」があり、学年や内容が記載されている。 ・「問」には該当ページが記され、そのページに戻って復習できるよう工夫されている。 ・「練習問題」や章毎に「基本のたしかめ」があり、基礎的な内容の確認ができるよう工夫されている。	・巻頭の「出発前のクイックチャージ、ドリルでチャージ」では、小学校の復習ができるように工夫されている。 ・「問」には該当ページが記され、復習に役立つよう工夫されている。 ・節毎の「確かめよう」、巻末の「基本問題、章の問題」では、たくさんの練習問題が記載され、基礎基本の定着が図れるよう工夫してある。	・章の始めの「学ぶ前に」では、既習事項を確認できるように工夫されている。 ・側注では考え方が示されており、自力解決できるような工夫がされている。 ・節毎に「基本の問題」、章毎に「くり返し練習」が設けられていて、多くの練習問題に取り組みめる。また、復習できるように該当ページが記されている。
	<思考力、判断力、表現力等の育成> ○推測したり、見いだしたり、説明する力を育成するために、題材や教材にどのような工夫が見られるか。	・各章の導入時に、生徒自身が、既習内容とつなげて考えたり、自分で予想したりしやすいよう、ページを大きく引き、思考力の育成が図られるような工夫が見られる。	・学習活動の解法を複数示すことで、生徒がそれぞれの解法の長所や短所を比較したり、考え方を説明したりすることができるような工夫が見られる。	・生徒が解法を推測ししやすいよう、各領域の導入時に「ふりかえり」を掲載している。 ・説明する力を身につけやすくてできるよう、各章の導入時にページを大きく割いて、書き込みながら考えることができるように工夫している。	・解法を推測ししやすいよう、各章の導入時に「〇〇を学習する前に」を掲載している。 ・課題を正確に把握できるように、各章の導入に、身近にみられる考えやすいと思われる事象を多く取り上げる工夫が見られる。	・各章の導入時に、生徒が正確に問題を把握して考えやすくてできるよう、身近にみられる事象を取り上げたり、大きくページを割いて直接書き込みができるようにしたりしている工夫が見られる。	・生徒自身がどのような力を身につければよいのかわかりやすくするよう、学習課題ひとつひとつを、わかりやすい言葉で明示している工夫が見られる。	・生徒が既習内容と関連させて、解法を見出しやすくてするために、各章の導入時に「〇〇を学ぶ前に」を掲載することで、思考力を高める工夫が見られる。

項目	観点	教科書名						
2 内容の程度及び取扱いについて		新しい数学(2・東書)	数学の世界(4・大日本)	中学校数学(11・学図)	中学数学(17・教出)	未来へひろがる数学(61・啓林館)	中学校数学(104・数研)	中学数学(116・日文)
	＜関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫＞ ○数学への学習意欲を高め、数学的活動に主体的に取り組めるようにするために、教材や学習活動ではどのような工夫が見られるか。	・巻頭には、「学習の進め方(学び合いのページ、マイノート)」が掲載され、主体的な学習を促している。 ・単元の導入は、見開きで身近な問題を取り上げたり、写真やイラストを多く用いたりして、意欲を高める工夫がされている。 ・「章の問題」は、基本と発展(A、B)に分かれて構成されていて、自分の力に合わせて取り組めるよう工夫されていて、主体的な学びが促されている。	・章の扉には、学習の導入として、写真と問いかけの文が掲載されていて、学習意欲を高める工夫がされている。 ・「社会にリンク」というコラムのページが設けられており、学習内容と身近な生活場面との関連が理解できるよう工夫されている。 ・数学的活動を行う部分には、3種類の活動マーク「見出そう、利用しよう、伝えよう」が記され主体的に活動できるよう工夫されている。	・章の導入は、見開きで操作活動を含む問題を取り上げ、意欲を高めるよう工夫されている。 ・「時間毎に」「目標」が記されているため、主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 ・数学的活動には「見つける、活用する、伝える」という3つのマークが記され、主体的に活動できるよう配慮されている。 ・章の「まとめの問題」は「基本」「応用」「活用」に分かれており、自分の力に応じて主体的に学習できるような工夫がされている。	・章の導入の「レッツトライ」では、紙面で活動できる課題を提示し、意欲的に学習できるような工夫がされている。 ・「チャレンジコーナー」「みんなで数学」や巻末の「補充問題」「実力アップ問題」があり、自分の力を高めるための課題や練習問題が記載され、主体的に学ぶことができる工夫がされている。	・章の導入では、2ページに渡ってイラストや写真を用い、身近な問題を取り上げ、意欲的に取り組める工夫がされている。 ・「ひろがる数学」で発展学習のページが記されており、自分の力に応じて学習を進めることができるように工夫されている。 ・Math Naviブック(別冊)があり、数学を身近な生活場面との関連が理解でき、意欲的に取り組めるよう工夫されている。	・章の導入では、身近な場面や作業を通して考えるような問題を提示し、意欲を高めるような工夫がされている。 ・「例」に目標が明記され、主体的に取り組めるような工夫がされている。 ・巻末の「ぐんぐん伸ばそうチャレンジ編」で発展問題にも挑戦でき、自分の力を伸ばすことができ、主体的な活動を促す工夫が見られる。	・導入は、2ページに渡り、身近な場面やパズル的な問題を提示し、意欲を高める工夫がされている。また、章のねらいが明確に記されている。 ・章末には「たしかめ」「とりくんでみよう」という難易度別の練習問題があり、主体的に学習できる工夫がされている。
3 構成・配列・分量	＜個に応じた指導のための工夫＞ ○個に応じたきめ細かな指導を充実するために、どのような工夫が見られるか。	・キャラクターを用いてヒントやアドバイスを示し、生徒が自分で考えたり、見通しをもったりできるよう工夫している。 ・「数学のまど」で、学習内容を深める問題や話題を提示している。 ・まとめの脳により分かりやすいよう具体例を示している。 ・「ちょっと確認」で既習内容を確認したり、「まちがい例」で理解の定着を図ったりして、つまずきやすい生徒に対応している。 ・「もっと練習」で、より進んだ生徒へ対応している。 ・章末に「基本」「応用」の二段階の習熟度に応じた問題を設定している。	・関連する既習事項を例題の脳に示したり、キャラクターを用いてヒントやアドバイスを示したりして、生徒が自分で考えたり、見通しをもったりできるよう工夫している。 ・既習事項の問題を基に本時の課題をつなげ、段階的に学習ができるよう工夫している。 ・まとめの脳により分かりやすいよう具体例を示している。 ・補充問題(プラス・ワン)を適宜入れたり、節毎の練習問題では、既習事項を振り返るページを入れたり、章末問題、いろいろな問題へと発展したりと、習熟度に応じた工夫が見られる。	・関連する既習事項や考え方の視点を図や数直線、言葉の式で示して、段階的に学習を進めることができるよう工夫している。 ・これまでに学習したことをまとめた「ふりかえり」のページを適宜設け、つまずきやすい生徒に対応している。 ・節毎の練習問題では、既習事項を振り返るページを入れたり、章末で「基本」「応用」「活用」の三段階の問題を設定し習熟度に応じた学習が進められるよう工夫している。	・キャラクターを用いて、ヒントやアドバイスを示し、生徒が自分で考えたり、見通しをもったりできるようになっている。また、つまずきやすい生徒に対応している。 ・各章の学習に入る前に関連する既習内容の確認問題を用意したり、章末に、「学習のまとめ」のページを用意したりと学習を進めやすくする工夫が見られる。 ・「まちがい」を指摘し、正しく直す問題を適宜用いし、つまずきやすい生徒に対応している。 ・「チャレンジコーナー」「数学ミニ事典」で、学習内容を深める問題や話題を提示している。	・関連する既習事項や学習のポイントがわかりやすく示されているだけでなく、「数学的な見方や考え方」が示されており、自分で考えたり、見通しをもったりできるよう工夫している。 ・具体的に図や数直線で表し、段階的に発展させて課題を解決する工夫が見られる。 ・巻末には「くり返し練習」や「数学広場」を設けている。また、「Math Naviブック」という別冊の教科書を設け、学習内容の補充や発展的内容を用意し、習熟度や興味関心に応じて取り組むことができるような工夫が見られる。	・ヒントや振り返りを適宜設け、生徒が自分で考えることができるよう工夫している。 ・巻頭の「クイックチャージ」で前学年の復習と復習問題を設け、振り返りをやすくしている。巻末には、練習問題や「数学探検」を設け、習熟度や興味関心に応じて問題に取り組むことができるよう工夫している。 ・各章の章末では、習熟度別に「基本」「問題A」「問題B」の三段階の問題を設け、習熟度に応じた学習が進められるよう工夫している。	・既習事項やアドバイスを適宜提示し、解答例をわかりやすく提示して、自分で考えたり、見通しをもったりできるように工夫している。 ・各章の始めに、既習事項の確認と復習問題を設け、つまずきやすい生徒に対応している。 ・章末に「基本の問題」、「くり返し練習」、「章のたしかめ」、「とりくんでみよう」の四段階の問題を設け、生徒の習熟度や興味関心に応じて学習が進められたりする工夫が見られる。 ・巻末に「A問題」「B問題」「いろいろな問題」を設け、習熟度に応じた学習が進められるよう工夫している。
	○系統的な教材及び学習内容の配列には、どのような特色があるか。	・既習内容とのつながりを把握するために、目次にそれまでに学習したことが明記されていたり、「ちょっと確認」のコメントで既習内容を確認したりすることができるようになっている。 ・3年間の学習内容を系統化できるよう、第3学年に「学びのつながり」が掲載されている。 ・理解の定着を図るために「まちがい例の訂正」が掲載されている。 ・今後の学習を示唆するために、第3学年に「もっとひろがる数学」が掲載されている。 ・素因数分解は「2章 平方根」で取り扱っている。	・それぞれの時間の学習内容の把握が容易となるよう、1単位時間が見開きで構成されている。 ・既習内容とのつながりを把握するために、目次にそれまでに学習したこととのつながりが明記されていたり、「思いつく出そう」のコメントが明記されている。 ・発展的な内容を学習できるよう、「いろいろな問題」「もっと数学」「考えてみよう」が掲載されている。	・既習内容とのつながりを把握するために、目次にそれまでに学習したこととのつながりが明記されていたり、各領域の学習に入る前の「ふりかえり」で既習内容を確認できるようになっている。 ・発展的な内容を学習できるよう、各章の章末に「深めよう」が掲載されている。 ・今後の学習を示唆するために、第3学年に「高校へのかけ橋」が掲載されている。	・既習内容とのつながりを把握するために、各章の導入時に「○○を学習する前に」が掲載されている。 ・生徒がどの観点の内容かを把握できるよう、それぞれの章末にある「章の問題」に観点が明示されている。 ・発展的な内容を学習できるよう、各章の章末に「数学の広場」「ジャンプ」が掲載されている。 ・今後の学習を示唆するために、第3学年に「ひろがる数学」で今後の学習が掲載されている。 ・素因数分解は、因数分解のすぐ後に取り扱う。	・別冊「MathNaviブック」が用意されている。 ・既習内容とのつながりを把握するために、「ふりかえり」のコメントや、別冊に「学びをつなげよう」が掲載されている。 ・発展的な内容を学習できるように、「身のまわりへひろげよう」「千思万考」や巻末の「数学広場」、別冊の「学びをいかそう」が掲載されている。	・既習内容とのつながりを確認するために、巻頭の「出発前のクイックチャージ」や、「ふりかえり」のコメントが掲載されている。 ・発展的な内容を学習できるよう「考えよう」「やってみよう」が掲載されている。 ・素因数分解は、「1章 式の計算」の最後に取り扱う。	・生徒が既習内容とのつながりを把握しやすくするために、目次にそれまでに学習した内容とのつながりが明示されていたり、各章の導入前の「○○を学ぶ前に」で既習内容を確認できるようになっている。 ・生徒がどの観点の内容かを把握できるよう、それぞれの章末にある「章の問題」に観点が明示されている。 ・発展的な内容を学習できるように、「深める数学」「生活への利用」が掲載されている。 ・素因数分解は、「1章 式の展開と因数分解」の最後に取り扱う。
4 表記・表現	○数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるような、構成・配列・分量について、どのような特色があるか。	・調べたことや、学習したことを自分でまとめたり、言葉で伝えたりする活動の進め方について、巻末に「レポートにまとめよう」を掲載している。 ・考え方を広げる補助として、「学び合い」「数学マイノート」が掲載されている。	・数学的活動を明確に示せるよう、「見いだそう」「利用しよう」「伝えよう」のコメントで掲示されている。 ・調べたことを自分でまとめて言葉で伝える活動の進め方について、各学年「研究をしよう」「レポートを書こう」で説明している。	・表現する力の向上を図るために、各学年の巻末に「レポートの作成」が掲載されている。 ・伝える力を高めていけるよう「レポートの作成」は、上級学年ほど内容が高められている。	・章の導入や章の中で思考力・表現力を養うことができる場面がある構成となっている。 ・各学年巻末に、それぞれの学年で身につけたいと考えられる数学的な考え方を明示している。	・数学的活動を章や節の導入で扱う構成となっている。 ・表現したり、伝えたりする力の向上を図れるよう、別冊にレポート作成の手引きがある。	・いろいろな考え方もったり、知識を深めたりすることができるよう「考えよう」が掲載されている。 ・数学のよさを学ぶことができるよう「やってみよう」が掲載されている。	・多くの例題や練習問題、章末に発展問題・活用問題が配列されている。 ・自分で調べたり、学習したりしたことを伝える力を向上できるよう、巻末にレポート作成の手引きがある(学年共通)。
	○レイアウト、図、表、グラフなどの表現やマーク、用語、枠等の表記には、どのような工夫が見られるか。	・関数の領域では、表・式・グラフに関連付けて取り上げている。 ・まちがいの例が右端に小さく記載されている。 ・重要語句は太字で記し、学習のまとめは緑色の枠で記している。 ・学習課題は黄色の枠で記し、学習の見通しは青文字の太字で記されている。 ・基本の問題には、振り返るためのページ数が記してある。 ・どのページにも、様々なマークや関連する補充問題のページ数が書かれている。	・関数の領域では、表とグラフが隣同士になっていて関連付けやすい。表もグラフも教科書に十分書き込めるようになっている。 ・教科書見開きで1時間になるように作成されている。 ・重要語句は太字で記し、学習のまとめはオレンジ色の枠で記している。 ・学習のねらいを薄緑色の背景で示している。 ・3種類のキャラクターが、吹き出しを用いてヒントを出している。 ・練習問題には、振り返るためのページ数が記してある。 ・重要な例題の解答例は、緑色の背景で黒板枠を用いている。	・グラフの枠が大きく、目盛りが細かくふられている。 ・各単元の最初に、小学校で学んだことがまとめられているので関連づけが容易である。 ・重要語句は太字で記し、学習のまとめは黒線と黄色枠で記している。 ・重要な例題の解答例は、ノートのマス目枠を用いている。 ・「確かめよう」の問題には、振り返るためのページ数が記してある。 ・学習の目標が太字で「目標」と明示されている。 ・教科書をめくる部分が章ごとに色がついている。	・各単元の最初に、小学校で学んだ問題と学年が記されており、関連付けが容易である。 ・重要語句は太字で黄色の背景で記し、学習のまとめは薄緑色の背景で記している。 ・学習のねらいが太字で記され、カフンのマークが付いている。 ・章末の問題には、観点のマークが入っている。 ・表はただ空欄になっているのではなく、1つ1つ書き込めるようになっている。 ・巻末にグラフ用紙がいくつも印刷されていて、ノートに貼付できるようになっている。	・単元の導入だけでなく、節ごとに学習課題がイラストや図、表を用いて大きく取り上げられている。 ・重要語句は太字で緑色の背景で記し、学習のまとめは緑色の枠(黒板枠)で記している。 ・重要な例題の解答例は、ノートのマス目枠を用いている。 ・吹き出しを利用して、解決へのポイントを示す工夫が見られる。	・NOTEという緑色の枠に、よくない例が示されている。 ・重要語句は太字で、学習のまとめは薄茶色の背景で記している。 ・キャラクターが色分けされていて、その役割も区別されている。 ・「確かめよう」の問題には、振り返るためのページ数が記してある。 ・「ここで学ぶこと」が明示されていて、学習のねらいがはっきりしている。	・関数の領域では、グラフ枠を1つ1つ大きくとって教科書に書き込めるようになっている。 ・重要語句は太字で緑色の背景で記し、学習のまとめは黄色の背景で記している。 ・章末の問題には、振り返るためのページ数や評価の観点のマークが入っている。 ・学習のねらいには、☆が付いている。 ・教科書をめくる部分が章ごとに色が付いている。

項目	観点	教科書名						
		新しい数学(2・東書)	数学の世界(4・大日本)	中学校数学(11・学図)	中学数学(17・教出)	未来へひろがる数学(61・啓林館)	中学校数学(104・数研)	中学数学(116・日文)
5 体裁・使用上の便宜	○文字の大きさ, 字間, 行間, 書体, さらに造本上の工夫や使用上の便宜について, どのように配慮されているか。	・「例題」「問い」を色別に表記している。 ・「例題」がどこか分かりやすいよう左側に罫線を付けている。 ・重要語句は, 書体を変えて太字で示し, 解答例などは手書きの書体を使っている。 ・学び合いの仕方やノートの使い方について表記されている。 ・字間や行間は空いていて見やすい。 ・学習しているページを開きやすいよう, 紙面の端に章ごとに位置をずらして色を付け, 章の見出しを入れている。 ・巻末に切り取り教材がある。 ・全ての生徒を配慮したユニバーサルデザインを採用している。 ・植物油インクと再生紙を使用している。	・「問い(Q)」の字体を例題と変えて, 変化を持たせている。 ・「例題」がどこか分かりやすいよう左側に罫線を付けている。 ・1学年用は文字のサイズを大きくし, 生徒の発達段階を踏まえた構成になっている。 ・重要語句は, 書体を変えて太字で示し, 定理やまとめは, 見やすいよう枠で囲み, 太字で示している。また, 解答例は, 黒板の枠の中に示している。 ・目次に, 関連する既習事項を表記している。 ・教科書の最初にノートの使い方について表記されている。 ・巻末に切り取り教材がある。 ・全ての生徒を配慮したユニバーサルデザインを採用している。 ・植物油インクと再生紙を使用している。	・「例題」「問い」番号と文章を罫線で区切ることで見やすくする工夫をしている。 ・重要語句は, 書体を変えて太字で示し, 定理やまとめは, 書体を変え太字で示し, さらに枠で囲み示している。 ・字間や行間は空いていて, 見やすい。 ・目次に, 関連する既習事項が表記してある。 ・教科書を開きやすいように, 紙面の端に章ごとに位置をずらして色を付け, 章の見出しを入れている。 ・教科書の最初に, ノートの使い方, レポートのまとめ方, 単位の書き方, 数学的な考え方, 既習事項が表記されている。 ・巻末に切り取り教材がある。 ・全ての生徒を配慮したユニバーサルデザインを採用している。 ・植物油インクと再生紙を使用している。	・「例題」「解答例」「問」で色を変え, 見やすく工夫されている。また, 何についての例題か一目で分かるよう工夫されている。 ・字間や行間は空いていて見やすい。 ・重要語句は, 書体を変えて太字で示し, 定理やまとめでは, 書体を変えた大きい文字をタイトルに使い, さらに色を変えた枠で囲み示している。 ・「教科書の使い方」が図式化され, 見やすくなっている。 ・巻末に切り取り教材がある。 ・1学年用は, 前半で大きめの文字を使っている。また, 巻末に, 小学校の内容の復習ができるよう工夫されている。 ・全ての生徒を配慮したユニバーサルデザインを採用している。 ・植物油インクと再生紙を使用している。	・「例題」「解答例」「問」で色を変え, 見やすく工夫されている。また, 何についての例題か一目で分かるよう工夫されている。 ・重要語句は, 字体を変えて太字で示し, 定理やまとめでは, 太字で示し, さらに枠で囲み示している。 ・何についての練習問題が示されている。 ・教科書の最初に, 「学習の進め方」の表記があり, ノートの使い方や話し合いの仕方, 発表の仕方と聞き方, 数学の見方・考え方が示されている。 ・学び直しや活用のための別冊の教科書が付いている。 ・軽い用紙と開きやすい製本形式を用いている。 ・全ての生徒を配慮したユニバーサルデザインを採用している。 ・植物油インクと再生紙を使用している。	・「例題」「解答例」「問」で色を変え, 見やすく工夫されている。また, 何についての例題か一目で分かるよう工夫されている。 ・字間や行間は空いていて見やすい。活字は大きくて見やすいものを使用している。問いの文字はやや小さめになっている。 ・重要語句は, 字体を変えて太字, 定理やまとめは, 色の違う枠で囲んでいる。 ・教科書の最初に前学年の既習事項がまとめてあり, 振り返ることができるように工夫されている。 ・学習する内容に関連する既習事項の参照ページが示されており, すぐに確認できるようになっている。 ・巻末に切り取り教材がある。 ・全ての生徒を配慮したユニバーサルデザインを採用している。 ・植物油インクと再生紙を使用している。	・「例題」「解答例」「問」で色を変え, 見やすく工夫されている。また, 何についての例題か一目で分かるよう工夫されている。 ・行間は空いていて見やすい。 ・重要語句は, 字体を変えて太字で示し, 定理やまとめでは, 色の違う枠で囲み示している。 ・教科書を開きやすいように, 紙面の端に章ごとに位置をずらして色を付け, 章の見出しを入れている。 ・目次に, 関連する既習事項が表記してある。 ・巻末に切り取り教材がある。 ・全ての生徒を配慮したユニバーサルデザインを採用している。 ・植物油インクと再生紙を使用している。